

ひたちの文化

- 2** エッセイ⑩⑪ 福田 暎さん
 3 獅子・狛犬の世界④ 寺田 誠さん
 3 日々を詠む⑨⑩ 選・評 樫村 奎子さん
 4 特別寄稿 日立市立十五中学校 廣田 康祐さん



- 5** ふるさと探訪パートⅡ(74)
 10Qじいじさんのちょっと笑える夜空のお話し③ 6
 ピッピコンサート物語② 7
 誌上で春を愛でる 8



「河川敷花の絨毯」

撮影：鈴木 宏さん（河原子町在住）
 撮影場所：久慈川河川敷菜の花緑地公園

「快活」「明るさ」「競争」「財産」「小さな幸せ」
 すべて菜の花の花言葉である。それをとつてもポジティブなメッセージ。故に、観た目の可憐さも相まって永年女の子の名前にも多く使われてきた。例えば結菜ちゃんや陽菜ちゃんなどはランキングの上位に君臨し続けている。「生活に困ることなく、日々の幸せに包まれた子どもでいて欲しい」という親心であろう。

アブラナ属の花はどれも黄色で似通っていることから、総称して「菜の花」と呼ばれる。歴史は古く、農耕文化と共に渡来してきたと考えられている。日本においても弥生時代以降には伝来していたとされ、飛鳥時代には食文化も既に伝わっていたという。派手さは無いが、さりげなく咲いて、周りを元気にしてくれる菜の花に奥深い歴史があったことにただ驚くばかりだ。

九年前の大震災の際には、久慈川流域にも津波が押し寄せ、甚大な被害を被ったのは記憶に新しい。菜の花畑も被害を受けたが、少しづつ、しかし力強く繁茂し、現在の姿まで復活した。春を告げるだけではなく、復興の一助となったのである。

新型コロナウイルスによる混乱は人々の生活に大きな影を落としている。町を歩く人もまばらであり、子ども達の遊ぶ声も耳に響かない。いつ終わるのかわからない。考えつまずき、嫌な気持ちになる。しかし、自然は今日も人々の営みを尻目にしながら、本能のままに成長遂げていく。海も山も草木も。季節の変化を受け止めながら。

エッセイ

101

昔なつかしい紙芝居 を只今制作中

福田 暎



ふくだ あきら

1937年生まれ(83歳)。秋田県出身。日立に来て会社勤務と定年後で日立在住60年になりました。紙芝居をつくり始めて早6年。日立の民話にふれることになり、地域の魅力や思いを紙芝居にして伝えていきたい。



紙芝居を観た子ども達はみな笑顔

「今日は、みんなに日立の民話を紙芝居にしたので見せたいと思います。このおじさんは、ひたたちの民話といつて、昔々のできごとを口から口へと伝えてきた話を絵にして紙芝居をつくっているのですよ。日立には昔々から伝わる民話

が沢山ありますよ。山あり・海あり・河ありと、お寺や神社もあり、いろんな所に伝説が残っていて語りつがれてるんですよ。今日、見せるのは、水木町にある、日立で一番古い神社の『泉神社』に伝わる

お話ですよ。紙芝居の題名は『泉が森の霊玉』です。霊玉ってなんだろう・・・それでは始まりはじまり」と拍子木の鳴る音で、はじまる紙芝居の口演は、子ども達の非常な興味を誘い、紙芝居にぐきづけになるようです。

数年前から大沼小学校の学習ポスターとして絵手紙の展示やらスクリーンミュージアム創設時の展示室に水彩画を提供していた中に、「日立の民話」紙芝居の制作依頼がありました。紙芝居と言え、私たちの年代は拍子木の音につられて、水アメをなめながら紙芝居を見た懐かしい経験があります。

今回を機会に現代の子供たちにも昔のあの懐かしい世界を体験させようかと思

い、決心。「ひたたちの民話」(大越斉著)を基に、定年退職後に習得した絵手紙画法で絵を仕上げ、紙芝居を数作創り、小学校の低学年の国語の授業に取り入れていただき、口演も続けております。

私たちの民話は常陸地方に昔から語り伝えられてきたお話で、ストーリーが面白いことから、その後も地域の高齢者サロンや、老人介護施設からも口演の依頼があり出掛けていきました。高齢者は、どの会場も参加者がいつも同じメンバーですので、口演が終わると「次の紙芝居は何をやってくれるの」と言われるのですね。それでは期待に応えねばと、新作の制作に挑戦すること十数作完成、現在も制作中です。又大沼交流センター自主グループ夢想塾では、私たちの民話の紙芝居の歴史や

当時の背景などを知りたい等の希望が多く、民話の背景にある歴史も調べて加えるなど、高齢者にもっと楽しんでもらう紙芝居を作ろうと思いい立ち、絵を面白くし、仕掛けを入れるなどの工夫をして仕上げるのが楽しみとなっています。



最近パワースポットとして大注目されている御岩神社に伝わる「三本杉の天狗」・大甕神社に伝わる「香々背男(かがせお)の石」・十王町の黒崎山に伝わる「豎破山と太刀割石」のほか、今話題の映画「あの町の高い煙突」を、紙芝居「日

立ち物語・ある町の高い煙突編」として、関係者の協力を得て制作しました。出前口演も考えておりますので、ご依頼をお待ちしております。

「ちいさな文化展」(平成31年1月)日立シビックセンターでの口演



「ちいさな文化展」(平成31年1月)日立シビックセンターでの口演

ほっこり！素敵な出会い

励ましをいただいて

新型コロナウイルスの影響が私たちの市民会館にも出ていた。コンサートや講演会など、賑やかになるはずだった3月のイベントが軒並み中止・延期になってしまった。職員の心にも寂しさが漂った。状況を鑑みれば致し方なし。ただただ残念に思う。

あるイベントの子ケツ払い戻し作業中。あるお客様が「最近、市民会館は頑張ってくれますよね。コンサートも有名な方が来てくれるし、映画も良いものを上映してくれています」と。これだけでもありがたいお言葉なのに、「絶対に立て直せ

ます。お金とか色々苦勞あると思いますが、応援していますからね。」というありがたいお言葉をいただいた。涙が出そうだった。実は同様の言葉を多数いただいた。

多くのお客様に来ていただきたい。それだけを考えてイベントを組み立てているが、直接、お客様からお褒めの言葉をいただく機会はとても少ない。独りよがりになっていないか、自分たちのスタンスを見直すことも大切。イベントの中止はとても残念だが、良い経験を積み重ねていただいている。

まちのサロン 日立市民会館

魅力たっぷり

「獅子・狛犬の世界」④



寺田 誠 (てらだ まこと)

日立市末広町在住。(株)日立ライフ建設部を定年退職。

現在、NPO法人社叢学会会員。

ライフワークとして40余年間「獅子・狛犬の世界」を探究。

また「モンゴルに桜の花を」事業を展開。

オペラ・ミュージカル「日立の玉手箱」公演に向けて活動中。

東照宮の世界に―2

徳川家康公は天文二年(一五八二年)二月十六日三河岡崎城(愛知県岡崎市)に生まれ、あらゆる艱難辛苦の末、戦国時代に終止符を打ち江戸時代二六〇年に亘る世界に其の比を見ない長期平和の礎を打ち立てられ、学問、産業、文化の基礎を確立し、晩年は駿府城に隠居された。そして元和二年(一六一六年)四月十七日、七五歳で逝去され、御遺命によりその夜久能山に葬られました。その後東照神君として平和、開運、学問、厄除けの神として崇められ、全国東照宮の創祀・根本大社として全国から幅の広い崇敬を受けています。

東照社(現・久能山東照宮)の神社は、元和二年(一六一七年)二月二代将軍・秀忠によって二条城、江戸城、駿府城、日光東照宮など江戸幕府による造営



社殿(権現造・国宝)



写真-2:本殿東側の阿吽の唐獅子

事業に携わった大工棟梁の中井正清が一年七ヶ月という驚くべき短期間のうちに社殿(最晩年の傑作)を造営しました。その社殿の様式は、本殿・拝殿を石の間で接続した「権現造」であり、当時最高の建築技術・芸術が結集されています。急峻な地形での神社への長い参道となる石段(二五九段)をはじめ、豪華絢爛な本殿などの社殿を人力だけで短期間の間に造ってしまいました。その神社建築における権現造の様式は久能山東照宮の造営によって確立され、日光東照宮を始め全国に多数造営された東照宮は久能山東照宮が原型とされています。この様に社殿を始めとしたみごとな諸建造物の塗り替えは、江戸時代には二〇年に一度、明治時代以降では五〇年に一度行われており、近年では平成一八年(二〇〇六年)に社殿が塗り替えられています。そして平成二二年(二〇一〇年)二月に、本殿、石の間、拝殿が国宝に指定されています。

日本を見た外国人

一五六〇年頃に来日したポルトガルの宣教師ロドリゲスによ

れば「土地は全て耕作されることもなく、また耕作されていなかったところは、たまた荒れさせ、敵方や隣人によって強奪され、絶えず互いに殺し合った。日本全体は極度の貧窮と悲惨に陥った」と書いています。その戦争を続けるために、農民から年貢を「七公三民」と言って七割も搾り取ったとされています。家康公の時代になると、年貢は「六公四民」、「五公五民」となり、ついには「三公七民」という大減税が行われ、商業経済が一気に活発になり、その後平和な二六五年間が続きました。「鉄砲を捨てた日本人」では、徳川期日本を見た外国人の評価を紹介しています。一六九〇年九月から一六九二年一〇月まで滞在した、ケンペルはその著書『日本誌』の最後で、他に例のない日本人の状態を次のように総括しています。「この民は、習慣、道徳、技芸、立ち振る舞いの点で世界のどの国民よりも立ち勝り、国内交易は繁盛し、肥沃の田畑に恵まれ、頑強強壯な肉体と豪胆な気性をもち、生活必需品はありあまるほどに豊富であり、国内には不慮の平和が続ぎ、かくて世界でもまれに見るほどの幸福な国民である。」

一八六〇年、ラザフォード・



写真-1:唐門前の狛犬と扉獅子彫刻
前面両脇に獅子が鎮座し、両扉の上段に様々な鳥たちが、中段に梅、下段に獅子が彫刻されている。

193 日々を詠む

《選・評 櫻村 奎子》

沈丁花の香りをかげば細胞の目覚めるやうな朝となりぬ

田尻 和子

「細胞が目覚める朝」とはどんな朝だったのだろう。早春の頃とこからともなく漂ってくる沈丁花の香りを独自の表現で感動が伝わってくる作品になった。日々の暮らしを丁寧に生きている作者の姿まで見えてくる一首である。

令和元年の市民短歌大会一位の作品。

オルコックは、「私は平和、裕福明らか充足感を見出した。またその村落は、イギリス村落にも立ち勝るばかりにこの上なく手入れがゆき届いており、鑑賞用の樹木はいくらところに植えられていた。この様に生活は貧しい人々も穏やかで心豊かな時代だったと感じられます。」

ノエル・パリンの著書の『日本語版への序文』には、「四〇〇年ほど前に日本は、火器に対する開発をやめ、徳川時代という世界の他の主導国が経験したこたのない長期にわたる平和な時代を築きあげました。」

この歴史的事例は、これを励みとして全世界が見習うべき模範たるものです。

鉄砲などの兵器がない社会がいかんほど幸福だったのかという歴史の証言と言えます。そして、明治期からの「富国強兵」の時代に入っていきます。



①改修前の利根川 ②利根川の東遷

利根川の東遷 古くから利根川は、乱流を繰り返しながら広大な関東平野を流下して東京湾に注ぎこんでいました。天正一八年(一五九〇)に徳川家康が江戸に入府し、家康公の命により以来、約六〇年間に及ぶ治水政策の中で、利根川は締め切りや開削により人工的に流路を変える瀬替えが行われ(上図①→②)、ついには太平洋の銚子へその流れを変えることに成功しました。その工事は家臣団によって行われました。

これは、利根川の東遷と呼ばれ、江戸の街を利根川の洪水から護り、その後の川舟交通網の確立や新田開発の進展は江戸の繁栄に貢献しました。

しかし東北諸藩の物流経路は、東北の港から那珂湊、酒沼、(陸路)、北浦、霞ヶ浦、利根川、江戸となっていましたので、この東遷により通行税が徴収できなくなり、水戸徳川家は甚大なる損害を被りました。

★★★ 特別寄稿 ★★★
文部科学大臣賞受賞にあたって

日立市立十王中学校
廣田 康祐



ひろた こうすけ
新潟県出身。茨城県内の大学院を修了。
平成22年より日立市立十王中学校に赴任。
現在、保健体育を担当。教鞭をとる傍ら、
男子ソフトテニス部監督として、子どもたちの指導を行っている。



授業者と研究主任で撮影(中央筆者)

本校は創立60年目を迎えて、現在では日立市と合併しましたが、十王町時代から多くの歴史を重ねてきました。職場の先輩にはとても親しく接していただき、私自身も赴任10年目(3月時点)を迎える中で、多くのことを学ばせていただきました。

十王中学校は平成28年から3年間の文科省指定の学校体育推進校の指定を受けま

した。具体的には「学校独自のテーマを決めて、それを基に3年間で体育授業を中心とした学校教育

了することができました。そして、3年分の成果を研究論文として全国大会に提出したのです。その結果、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞することができました。

我々が設定した研究テーマは『生徒同士の学び合いによる授業』でした。中学生は基本的に自分たちの考えに自信を持つことができませ

ん。そのせいで、自分の意見を進んで発言することを怖がるケースが多いです。そこで、当初は話すことができなくても書くことはできるだろうと考え、付箋紙に自分の意見を書かせて友だちのワークシートに貼らせたり、課題を設定したあとに生徒同士で話し合いをさせたり、作戦を立てたりする時間を確保しました。生徒は自分の考えが正しいと感じると必ず表情や仕草が変わります。そこを見逃さずに

この活動が凄いです。2年生の先輩が同じ部活の1年生に踊りを教えるのですが、2年生の生徒がとても生き生きとした表情なので



3年分の資料をボードに掲示

す。運動が苦手な生徒も関係ありません。その時、2年生はまさに『先生』として後輩に踊りを継承しています。この踊りは体育祭だけでなく、ひたち秋まつりにおいて日立シビックセンター前で披露させていただいております。生徒たちだけで継承される伝統芸能、十王中学校の大きな特色と言えると思います。

現在は新型コロナウイルスの影響による学校臨時休業などで連日対応に追われていますが、教員同士が連携を組む、生徒を支援していけるよう頑張っていきたいです。連携を組む教員の背中を見ることが、生徒たちも人とのつながりの大切さを感じ、『学び合い』がより一層深まるのではないかと考えています。

また、本校には「十王鶉鳥舞」という伝統芸能が15年継承されています。研究発表でもそれについて説明したり、披露したりしたのですが、



上:研究発表会の様子
下:『十王鶉鳥舞』(ひたち秋まつり)



上:チームで作戦会議の様子(バレーボール)
下:投げ技を動画で撮影・分析の様子

そこで研究主任の役職が私のところになってしまいました。「え?マジで(汗)!?」という焦りがありましたが、学校の先生方のご助力を得て、研究発表を無事終

ふるさと探訪パートII- 74

地域に芽吹く美術 —日立美術協会と日立製作所の美術活動—

大森 潤也
(日立市郷土博物館学芸員)



本稿では日立美術協会の初期の活動と日立製作所がもたらした美術文化についてのあらましを紹介したい。広域的な戦禍を被った茨城では、水戸の白牙会が1946年(昭和21)に再開され、翌年にかけて県内の各地域の団体が発足した。1947年創立の日立美術協会は、白牙会関係者や疎開してきた美術家で構成されていた。

日立美術協会は第1回展を市役所会議室で1947年10月19日から21日まで開催し、およそ1万人を動員した。会場と日数に比して驚異的ともいえる観覧者数と当時の写真からも、文化的・娯楽的要素の渴望を表して余りある。美術協に加え、戦後の日立製作所における文化活動も大きな影響力を持った。当時の日立製作所は著名な芸術家を招き、美術面では二紀会創立会員である栗原信と同会の宮本三郎が頻りに会社へ訪れて美術部を指導した。こうした動きを推進していた一人に辛島詢逸という人物がいる。初期の日立美術協会員であり、社内外の美術家を積極的に支援したことで知られる辛島は、京都で陶芸を



第1回日立美術協会展(1947年)の風景

志した後に技術者となって日立製作所に入社した経歴を持つ。1936年に日立製作所の陶房・大甕陶苑が設置されてその担当となった辛島は民芸運動関係者との繋がりを利用して、益子の濱田庄司の協力をとりつけるなど優れた美術家たちを日立に引き寄せている。1956年、辛島は大甕陶苑の新たな技術員の採用にあたって京都市立美術大学に卒業生の紹介を依頼した。それを受けて日立に派遣されたのが加守田章二と竹内彰である。加守田の日立時代は短かったものの、竹内は2001年に大甕陶苑が閉じるまで日立で作陶を続けた。ルーツを踏まえつつ革新的な造形を示し続けた二人の陶芸家が地域ならびに市民へ及ぼした影響は大きい。時期を前後して日立に足跡を残したのが版画家の棟方志功である。棟方は1954年

以降、1973年までのあいだに日立を頻りに訪れ、会社と多くの市民と親交を結んだ。こちらも辛島と民芸運動との関わりがもたらしたものである。辛島と美協関係者らの尽力によって1959年に日立商工会館で棟方の個展が開かれ、さらに1965年に日立市民会館開館記念として棟方志功展が催されるなど、その存在と作品は広く市民一般親しまれることになった。また日立製作所が関係した重要な事柄としてアメリカの写真家ユー・ジン・スミスの招聘と日立撮影というトピック

友の会だより

友の会旅行

委員 吉田 福夫

友の会の事業のひとつである「一泊旅行」は、平成元年に初めて計画されました。行く先は、山梨県立美術館でミレーの「種をまく人」「落穂ひろい」を鑑賞しました。昼食に山梨名物「ほうとう」を食して、河口湖で一泊。二日目は箱根に向かい、箱根観光の定番「箱根彫刻の森美術館」を散策しました。これで帰路に着く予定でしたが、当

があるが、やや特殊な事例でもあることから機会を改めて再検証を加えたい。現在の視点から当時の作品を見れば、新たな視覚認識や手法、様式を模索する前衛とは相対する保守的なものとして映るかもしれない。しかしながら新しいスタイルを作ることだけがオリジナリティではない。日立の美術家たちが見せた実直な表現はむしろ、安定した感覚、あるいは伝統を敷衍した発想が駆使され、その初々しく潑刺とした感覚によって今なお形骸化を免れている。

ひたち市民会館
友の会



③ 一等星の明るさは同じなの？

夜空の星を見上げた時、星の明るさが違うことはすぐ気づきますね。

私たちも、1等星という言葉を目にすることがあります。1等星は明るくて2等星、3等星と数字が大きくなるにしたがって星は暗くなります。そして、私たちが目で見える星は、6等星くらいが限界と言われます。では、1等星と6等星ではどれくらい明るさが違うのでしょうか。



1等星の明るさは、だいたい2等星25個分の明るさです。2等星も3等星25個分の明るさということですから、計算すると答えは、約100倍です。6等星100個が集まって1等星1個の明るさということができます。

また、星の明るさを表す場合、〇等星という言い方に似ていますが、〇等級という言い方もあります。〇等星という言い方はその中にいくつもの星が含まれるわけです。例えば1等星は21個あります。でも、1等星の明るさがすべて同じ

わけではありません。同じ1等星でも1番明るい「シリウス(おおいぬ座)」と1番暗い「レグルス(しし座)」では明らかなに明るさが違います。その違いを表すのが等級です。その等級にも2種類あります。実視等級と絶対等級です。一般的に私たちが使っているのは実視等級です。つまり、地球上から私たちが見えている明るさを基にした等級です。

先ほど紹介した「シリウス」と「レグルス」をこの等級で表すと、シリウスは約マイナス14等級、レグルスは約マイナス14等級です。〇等星と同じように数字の小さな方が明るいので、マイナスが付いているシリウスの方が明るいのです。「マイナスなんて聞いてないよ。」という声が聞こえそうですが、

そもそも一つのポイントは、等級の小数点以下1位を四捨五入した数字が〇等星だということなんです。レグルスは140等級なので四捨五入で1等星です。ちなみに2等星で一番明るい「アダーラ(おおいぬ座)」の等級は150等級です。

つまり四捨五入で2等星ということになります。あと0.01でも等級が上だったら22番目の1等星だったのに惜しい！

ちなみに太陽の等級はマイナス26.7等級、満月はマイナス12.7等級、惑星の金星も明るくてマイナス4.3等級の明るさです。ただし、明るいと言っても月と金星は太陽の光を反射しているのであって、自ら光を放っているわけではないんです。

そういえば、絶対等級の話をしていませんでしたね。地球からそれぞれの星までの距離はバラバラです。当然、星自体の明るさが同じなら地球から遠い星より近い星の方が明るく見えますね。先ほどの実視等級の場合は、それを無視して目で見た明るさで等級を表しています。でも、それでは本当はどの星が明るいのかわかりません。どうしたら比べられるのでしょうか。動の

地では見つけられないほどの明るさでしかありません。

夏の大三角形を形作る3つの1等星の1つであるくちよう座の「デネブ」は、実視等級では1等星の中では2番目に暗い星(125等級)ですが、絶対等級の明るさでいえば太陽60,000個分と言われています。夏の大三角形の他の2つの星であること座の「ベガ」とわし座の「アルタイル」は地球から見ればもっと明るい星ですが、それは地球からそれぞれ25光年、17光年と比較的近くにある星だからです。

これに対してデネブは約1400光年も離れています。それでも1等星なのです。人と同じで見た目だけじゃわからないものですね。

※1光年は1年に光が進む距離約9兆5000億km



読売日本交響楽団特別演奏会

～情熱のロシア音楽の世界～



とき：7月19日(日) 15:00開演(14:00開場) ところ：日立シビックセンター音楽ホール
チケット：一般 5,000円 ステージサイド席 4,000円
高校生以下 2,000円

6月チケット発売予定

日立シビックセンター音楽ホールの催し物

三井住友海上文化財団
ときめくひととき第868回

吉野直子ハープリサイタル

本公演は延期となりました。日程につきましては、決まり次第、ホームページ等でお知らせいたします。



◆お問合せ：日立シビックセンター ☎0294-24-7720

ピッピコンサート物語② ～スタッフから思いを伝えたい～

「今日、ピッピ？」

「僕も行く！」

練習がある時は、週末が近づくとお母さんによく聞きます。僕は六歳の頃、ピッピスタッフだったお母さんの影響で一緒に歌ったことをきっかけにそれから五年間、活動に参加しています。

僕を氣にかけて話しを聞いてくれたり、とても優しく、行くのが楽しみになる場所です。

僕は、ピッピの活動で歌を歌わせてもらうことが多いです。ピッピの歌には、楽しい歌、元氣が出る歌、悲しい歌、考えさせられる歌など、色々な歌があります。そしてその一つ一つに作詞してくれた人達の思いがたくさん込められています。

7歳の時に、大きなコンサートで新しく生まれた曲をひろうした時には、「スマイル&スマイル」という曲を歌いました。誰でも失敗することはある。くじけずに元氣いっぱい乗り



ピッピスタッフの会
pipipi@taiyonoie.com

こえていってほしい」という作詞者の思いを、明るく元気に歌えるようにしようと、アドバイスをもらって歌いました。初めて大きな会場で歌ったことは、「さん張よりも楽しかった。」という記憶が残っています。

それから3年後、また新しく生まれた曲をたくさん人の前で歌う時、この時には、とてもさん張してしまい、ステージに立つのが怖くなってしまいました。でも、歌い始めるときは張は少しづつほぐれ、作詞者の思いを考えながら感情を込めて歌おうという気持ちで思い出し、言葉を大切に歌いました。

僕はピッピを大切な活動だと思っています。障害のある人やそのご家族の人達によりそってふれ合うことを大切にしたり、作詞者の思いをメロ

ディーにのせて大切に伝えていくことが出来る活動だからです。

今の僕に出来ることを探しながら、これからも、がんばっていいことと思います。

星野弦光(ほしのげんき)
小学五年生
母と一緒にピッピの活動に参加する
主にボーカルを担当 得意な楽器はピアノ

ソロデビュー20周年
上妻宏光「生一丁!」Tour 2020-2021
「伝統と革新」

令和2年9月13日(日) 午後3時開演
会場:多賀市民会館ホール
全席指定5,000円(当日5,500円)
チケットの発売は...
6月20日(土)9時~日立市民会館窓口販売

上妻宏光、ソロ・デビュー20周年。原点である津軽五民謡の“生音の演奏”で、“生き様”を魅せる!
2020年、原点復帰。通算132公演を数える「生一丁!」のTourが5年ぶりに決定!上妻宏光の真骨頂である津軽三味線の一流の技術と“生音”の響きを体感できるプレミアムな公演を体感して欲しい!



谷村新司コンサートツアー2020
「谷村文学選～グレイス～」

令和2年7月5日(日) 午後4時30分開演
日立市民会館ホール
全席指定 8,800円
※ひたち市民会館友の会会員 8,600円

フォークソンググループ「アリス」のボーカルで、シンガーソングライターとしても活躍している大ベテラン谷村新司。
久しぶりの日立公演決定!!

チケット好評発売中!



ベンチャーズ ジャパン・ツアー 2020

令和2年9月19日(土) 午後4時開演日立市民会館ホール
全席指定6,500円
※ひたち市民会館友の会会員6,300円
令和2年5月9日(土)9時~窓口発売
夏だ!エレキだ!ベンチャーズ!
1959年に結成し日本に空前の“エレキ・ブーム”をもたらしたベンチャーズが日立市民会館にやってくる!





「古木」

撮影者:島田 道子 さん
日立市日高町在住



春を愛でる

今年も様々なイベントが企画されていたが、新型コロナウイルス感染拡大に係る予防措置として、多くのイベントが残念ながら中止・延期となった。「ひたちの文化」誌上だけでも、希望に満ちた春をお届けしたく、ふるさと日立カレンダーにお寄せいただいた写真を掲載させていただく。写真は「ひたちの四季カレンダー」応募写真から拝借。いずれも力作ぞろいだ。



お詫びと訂正

前号(239号:令和元年12月1日号)の3ページ「日々を詠む」におきまして、掲載に誤りがございましたので、下記のとおり訂正させていただきます。

作者の原 正治様及び、選者の佐々木とほる様に多大なるご迷惑をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

(編集部)

《訂正前》

ああ翺雲最後の打者を仰ぐ天



《訂正後》

翺雲最後の打者の仰ぐ天

※“ああ”を削除 ※“を”→“の”に修正

「茂宮川の春A」

撮影者:中野 律子 さん
日立市東多賀町在住



「吉田正記念館の枝垂桜」

撮影者:猪又 輝昭 さん
日立市諏訪町在住

「第57回日立さくら祭り」

撮影者:松原 洋一 さん
日立市小木津町在住



編集後記

■この原稿を作成している時点で日本は、新型コロナウイルスが猛威を奮っている。全国的にイベントの自粛や、学校の休校など、平時では考えられない状況。マスクが無い、消毒液が無い、トイレトペーパーが無い等、日本中が大混乱に陥った。◆普段はホームセンターに行くたびにトイレトペーパーやティッシュを余計に購入していた我が家であるが、今回はたまたま在庫が心もとない状況となっていた。少し焦ったがガセネタとのことだったので、ひと安心■日立市の春の風物詩「さくらまつり」が残念ながら中止となった。市民のみならず他所から楽しみに来てくれる方もがっかりしているだろう。しかし、楽しみは後に送ったほうが、更に楽しさが倍になってくれるのではと考えている。今から来年に心を馳せようと思う。(M)

表紙の写真



青空と菜の花のコントラストが鮮やか。市民の憩いの場としても有名な久慈川菜の花緑地公園。この可憐な、そして力強い花に魅せられて多くの来場者が訪れている。平和通りやかみね公園の桜と同様に、今年も日立市に春の訪れを告げていた。

撮影者は河原子町の鈴木 宏さん。鈴木さんも菜の花に魅せられた一人だろう。令和2年カレンダー応募写真より拝借。

発行 公益財団法人日立市民科学文化財団
「ひたちの文化」編集委員会

〒317-0063 日立市若葉町1-5-8 日立市民会館内
TEL 0294-22-6481 FAX 0294-22-6633
HPアドレス <http://www.civic.jp>

※ご意見・ご感想をお寄せください。

